

どんびま

2012年3月11日発行
発行者 椀の湖農業小学校

梅の花が遅い

3月に入ってお天気が悪いが、一雨ごとに暖かくなって、田畑の畔の枯れ草の中に小さな緑が目につくようになった。

我が家への道の入り口で春を告げるマンサクが今年は異変だ。花がまばらにしか咲いていない。隣家に面した方でも一本をのぞいて花の無い株が並んでいる。

今年は梅の花も遅れているという。1週間から2週間の遅れとも言われていて、梅林の観光地は予定がくるっている。中山間地のこの地方では花が早いと遅霜にやられることがあり、むしろ遅い方が梅の実は豊作が見込まれる。

それでもやはり普通でない不安な気もする今年の春だ。大震災からちょうど1年。(草)



絵 大橋寿美代

3月授業日のご案内

日程	3月25日(日)	服装	作業のできる服装
受付	9:00 ~ 9:30	持ち物	手袋、タオル、長靴、雨具、 食器(皿、汁用椀、湯のみ)箸
入学式	9:30 ~ 11:00		エプロン、軍手(五平餅焼き用)
グループ紹介		昼食	五平餅(グループ活動の中でみんな で作ります)
学校・農場の説明			豚汁など
グループ活動	11:00 ~ 12:00		
昼食	12:00 ~ 13:30		
授業	13:30 ~ 15:00		
じゃがいも植え			
ほうれん草・にんじんの種まき		返信はがき締め切り	3月19日(厳守)
終わりの会	15:00 ~ 15:20		

問い合わせ・緊急連絡 TEL 0573-75-4417 ・090-5110-9362 (山内總太郎)

冬期の課外授業活動報告

* 12月23日(祝)

- 1 染物。 マイ鯉のぼり作り(絞り) 12～2月と3回で完成させます。
- 2 わら細工。 縄ない、しめ縄作り 門松用と玄関飾りの2種類を製作しました。
- 3 昼食。 ひるぜんおこわ(五目おこわ) みそ汁
- 4 竹馬作り。 お父さん方の作った竹馬に乗って練習しました。
- 5 参加者。 8家族23名

* 1月8日(日)

- 1 染物。 鯉のぼりの絞りを続ける。
- 2 連凧作り。 各家族ごとにダイヤ凧1個と連凧7個をセットでつくる。
当日は風が極度に弱く、わずかしか揚がらなくて残念でした。
- 3 昼食。 五目御飯、豚汁
- 4 左義長(どんど焼き)体験。 あぼ兄が準備してくれた材料を使い、皆で左義長を作り点火しました。赤々と燃え盛る火を前に、公認の火遊び?故か何時までも傍を離れる事の出来ない生徒もいました。
- 5 参加者。 7家族22名

・ 2月19日(日)

- 1 染物。 マイ鯉のぼりの染色と縫製による仕上げ
 - 2 昔の遊び体験。(午前と午後)
 - * こま廻し。お父さんの腕の見せ所?手のひらに乗せたり皿に乗せたりで得意技を発揮して、子供に尊敬?されたでしょうか?
 - * 竹馬乗り。12月に作った竹馬を使い、親子共同で練習しました。
 - * 縄跳び。今回は縄跳び用の縄を用意しました。親子で仲良く飛んでる姿はとても微笑ましいものでした。
 - * 釘打ち。5寸釘を地面に打ち付け、立った順に陣取りをすると云うものですが当日は土の地面が凍結しており、釘が刺さらなくて中止となり想定外でした。
 - * 凧揚げ。1月の作品を持参した方は、今回の風によりある程度満足出来たようです。私の作品である立体凧は、100Mの糸一杯に揚がり杭に固定したまま暫らく空を泳いでいました。
 - 3 花餅作り。 柳の枝(1～1.5M)に紅白の餅をつけ、花餅飾りを作り持ち帰って頂きました。
 - 4 昼食。 ひるぜんおこわ(リクエストにより) けんちん汁
 - 5 からすみ作り。 当地方の代表的な蒸し菓子「からすみ」を作りました。米粉を練って木型に詰めて富士山の形をつくり蒸します。試食をしたのち持ち帰って頂きました。花餅・からすみ・共に生徒のみならずお父さんお母さん全員参加で、とても楽しいひと時となりました。
 - 6 参加者。 4家族16名
- 以上で課外授業すべて終了

～安保兄の百姓ぼなし～

脱原発を言い続けよう

忘れられない3月11日、大震災からもう1年になる。

被災地のガレキの受入を呼び掛けても、いっこうに処理が進まないそうだ。

中津川市でも受入反対の請願が市長あてに出された。「環境省から要請されるガレキ処理を一切受け入れない事。民間業者による当市への震災ガレキ(リサイクル可能な物を含む)の搬入・処理を禁じる。」というものだ。こう云った国難の時に、受入反対の請願が出てくるのは、市民として大変残念なことだ。こんな時こそお互いに助け合わなければならない。市議会ではこの請願を反対多数で否決した。

2月29日の朝日には「汚染灰仮置き 3.5 万ト」の見出し。原発事故により、福島・茨城・千葉など7県32ヶ所の焼却場で、放射性セシウムで汚染された焼却灰を埋め立て処分できずに、一時仮置きしているという。汚染灰が国の埋立基準を超えるものや、基準以下であっても断定できないものまで法的に埋立できないのだ。さらに汚染濃度が低いと分かった物でも、処分場周辺住民の反発が強く、焼却場から搬出できない灰が増えて保管場所は3月中にはパンクする恐れもあるという。

一方、除染対策もいっこうに進んでいないようだ。田畑の表土を入れ替えるにもその行き場が無い。水田も屋根も溝も洗い流した水はやがては川に、さらに海に行く。

2月2日の新聞によると、原発事故から10カ月が過ぎたが、魚介類や海底の土の汚染が今も続いているという。放射性セシウムが海底にしずんだままになっているからだ。震災後の調査で、当初は海水が汚染され海面近くに生息する魚から放射性物質が検出されたが次第に数値が下がり、汚染は海底土やそこに生息する魚介類へ移行しているという。食物連鎖により濃度は高まり、餌が汚染されている限り汚染は繰り返す。政府は海も除染の対象にはしたが、海底の土を大規模に取り除いた例はなく、具体的な計画も無いままだ。

漁は豊漁でも魚が売れない漁民、水田の除染・除塩が出来なければ米を作れない農民、少しでも省エネにと被災地から出荷されたが汚染されていると返品になった薪。汚染された川の碎石が使われた新築マンション。困った時はお互い様では解決できない。

国内に54基ある原発のうち52基が事故や点検で止まっている。残りも春までには点検に入り全基が停止する。原発の稼働停止を理由に電力不足が声高に言われ、大幅な値上げも原発が止まるとこんなにコストが上がるとの意見広告にしか見えない。

密集地福井県にある11基の原発も停止中だ。つい先日大飯の3号基・4号基に原子力安全委員会は再稼働合格を出した。首相や地元が決断すれば運転再開になる。地元住民は原発の安全と安全委員会の甘い採点に不信感を示す。風船での実験が報道されたように、

事故あるときは放射性物質が岐阜県・愛知県に降り注ぐことになる。椋の湖農業小学校の畑では安全安心な野菜を作るため、農薬はもとより化学肥料も一切使わない栽培をしてきた。その野菜に降りかかる事のないよう、今から脱原発を言い続けよう。






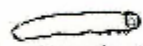


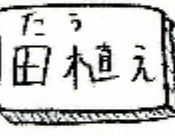

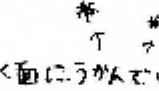










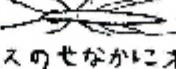

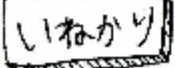




この顔が校長のあぼ兄です。

椋の湖農業小学校で皆さんにお会いできる日を楽しみに待っています。



～かなちゃんの虫日記～

入学おめでとうございます🌸 農小ではたくさんの虫とであうと思います。であたら、きもちわるがたり、あっぱらったりせずにな、とながめてみましょう。きとおもしろいです。虫は人よりも何百倍も小さいのでち、ともこわくないです。季節によって、またたべもののそだちぐあいによ、てでくおす虫はいろいろです。農小ででくおしそうな虫をほんの少ししょうかいします。〇月というのはめやすです。もー、といういろいろいます。

3月	とうみん 冬眠していた 虫がでびす。	ナホシテントウ 	アリ 	アブラムシ  花のうらやみに かっしやいる。	トビムシ  土の中はいる。	カブトガ(ネリウシ)  おをがしる。
4月	モンシロチョウ  モロバシやアブラムシをたべます	ハナムシ  花にもどて がらを たべます。	セイヨウミツバチ  おらおらにうらやまをたべます。すにみちをたべます。			
5月	たう 田植え 	ヒメアメンボ  水面にうらやまをたべます。	カシカサヒメアメンボ  水面にうらやまをたべます。	マツモムシ  水の中ですおあぶしてはいる。		
6月	ニジュウヤホシテントウ  じやがいものほをたべます。	ウリハムシ  ウリ科のほをたべます。	オドロアサガツウシ  しよとくで パンダみたい。	グンバイムシ  はねがステステで カクカクうらやまをたべます。		
7月	カブトムシ 	スズメガ とんぼもたなく 大きな幼虫。 たすのはなをたべます。	ヨコバイいろいろ  まいる、ヒョウ、まみどり、 いろいろなのがある。	カワフキ  あちにあまねいてはいる。 あちのなかみち くせのしよをたべます。 どんなんをたべます。		
8月	シオカラトンボ 	オオカマキリ 	オングラッタ  マスのせなかにオスがたべます。	ヒシバタ  まら、いろいろ いろいろ。		
9月	いねがり 	アサギカサミカサ  あかまみどり	クマヘリカサムシ 	ホソバカサムシ  イネのほをたべます。		
10月	冬をこすじやんびをはじめます。			 マツモムシのまゆ まみどり		